

学校給食費値上げ決定 食材費高騰のため 小学校 285円⇒335円、中学校 325円⇒385円

●2025年度第1回一宮市学校給食審議会開催(2025.8.25)

審議内容の一部を紹介します。(議事録はH,Pで公開されています)

- ・学校給食費を改訂すべきかどうか、改定するならいつ頃からいくらとすべきか、との答申内容を審議すること。その後教育委員会で公式決定される流れ。
- ・資料(消費者物価指数、食品価格動向調査)数枚添付される。
- ・全委員の賛成で決定 2026年4月1日から給食費値上げする、主食と牛乳が15円以上値上げの場合検討する。

●定例教育委員会開催(2025.9.28)

傍聴者は彦坂はじめ3人でした。ただし傍聴者は配布された資料を持ち帰ることはできません。

- ・学校給食審議会「学校給食費改定について」答申を受けての審議が行われました



学校給食費引き上げ(1食あたり) 2026年4月1日～
小学校 285円⇒335円 ↑50円 中学校 325円⇒385円 ↑60円

*子育て世代にとって給食費の引き上げは大きな問題なのに、今年度1回だけの給食審議会で審議会委員12人全員の賛成で値上げが決められました。

教育委員会の委員から「審議会ではどんな審議がされたのか」「未納の家庭はどれくらい」「シン学校プロジェクト事業との関係は」「保護者への周知は」など質問、要望がありましたが、値上げについて委員全員が反対はしませんでした。(ひこさか和子)

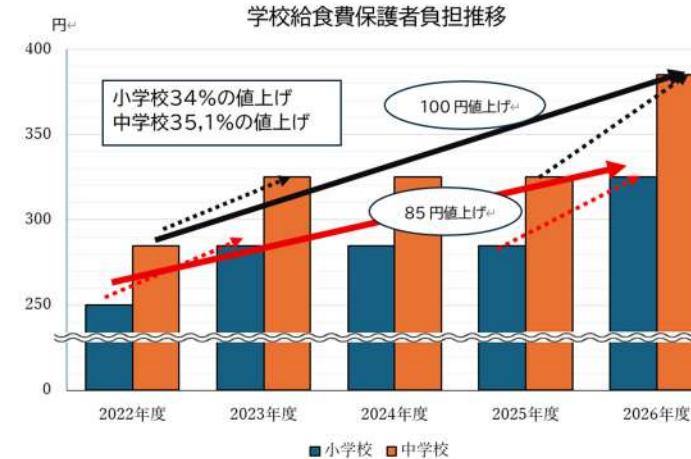


●市民の意見 教育委員会を傍聴して

「より専門性のある人たちで構成される給食審議会で、慎重審議したと言われるが、それだけでは伝わらない。どのような資料が出され疑問や話の中身をもう少し聞きたい。」「保護者への値上げの通知も、分かりやすく納得できる丁寧なものにしてほしい。」まともな意見だと思った。これは給食審議会のありようへのするどい指摘もある。

●一宮市学校給食費 保護者負担の推移(1食あたり)

2022年度の給食費から見ると、4年で小学校34%(85円)、中学校35.1%(100円)値上げとなる。



●愛知県下の学校給食費無償化・補助の実態(2025年) 完全無償化、何らかの補助 県下54自治体のうち31自治体

完全無償化	5	豊田市、安城市、みよし市、飛島村、豊根村
半額補助	5	豊橋市、津島市、大口町、設楽町、東栄町
3学年で無償	3	大府市、愛西市(中学無償)、犬山市(小1・6・中3無償)
多子世帯無償	2	小牧市(2人以上子ども世帯で第2子中学生と第3子以降全員)、犬山市(第3子以降全員)
その他補助	17	岡崎市、豊川市、碧南市、蒲郡市、常滑市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、あま市、長久手市、東郷町扶桑町、大治町、蟹江町、阿久比町、美浜町

●県政を変えて一宮市に希望を

全国第2位の財政力を生かせば、一宮市でも実現できる!

愛知県は、東京都に次いで全国第2位の財政力があります。
東京都のように愛知県が責任を持って一宮市でも実現できます。

愛知県と東京都を比べてみると

	愛知県	東京都
学校給食費無償化	補助なし	実質7/8補助
加齢性難聴者の補聴器購入補助	補助なし	72,450円補助



かわえ明美
日本共産党
県政対策委員長

福祉健康委員会 決算審査の内容 彦坂和子

11/12 福祉健康委員会で 2024 年度決算審査を行い、意見の一部を紹介します。

●生活困窮者自立支援事業

- ・経済的に困窮し、生活を維持することができなくなるおそれがある方に対し、生活困窮状態からの早期自立を目指すよう、様々な問題で必要な支援を行う。
- ・相談件数 3,096 件、就労支援者数 126 人、就労者数は 60 人。
- ・暮らしが大変になる中で、市民が役所に相談できるよう周知をしてほしい。



●高齢者福祉タクシー料金

- ・85 歳以上の方に、普通タクシ一年間 30 枚、リフト付きタクシー 10 枚交付、初乗り料金が無料になる。年度途中で申請の場合、申請月以降の利用券交付。
- ・障害者向け福祉タクシー料金助成で、お迎え料金も無料に。
- ・85 歳以上の人口 18,019 人、利用回数は 51,979 回、申請者数 10,670 冊、

●地域包括支援センター運営事業

- ・センターでは主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師等が高齢者の支援を行う。センターは現在市内 7 所設置されている。センターの役割を考え、第 10 期（2027~29 年度）計画の中で増やすことを検討してほしい。
- ・センター設置の基準は、高齢者人口 3000~6000 人、おおむね中学校区

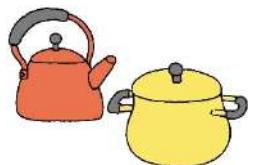
●いきいきセンター事業

- ・高齢者福祉施設 21 施設のうち、入浴施設があるのは 12 施設。21 施設のうち 19 施設は社会福祉事業団に指定管理されている。指定管理料は何に使われているのか。葉栗いこいの広場のお風呂が使えないことがあり、「指定管理料では対応できない」と事業団。高齢者はお風呂に入るのが楽しみ、早くお風呂に入れるようにしてほしい。



●生活保護事業

- ・憲法第 25 条「すべての国民は健康で文化的な生活を営む権利を有する」との理念に基づき、最低生活を保障する、最後のセイフティネット。
- ・被保護世帯数 3,053 世帯、被保護者数 3,695 人（月平均）
- ・2024 年度の申請件数 508 件、保護決定 466 件、取り下げ 24 件。



●介護保険 介護認定審査会事業

- ・認定者数(人) 要支援 12,339、要支援 22,929、要介護 14,567、要介護 23,364
要介護 32,359 要介護 42,291、要介護 51,389 計 19,238 人
- ・申請から認定までの期間 基準 30 日、県 40.9 日、一宮 48.1 日
- ・一宮は認定までが遅いので、介護サービスが早く利用できるように改善を！

女性参政権 80 年 シンポジウム、特別展開催

1945 年 12 月の選挙法改正により、女性参政権が実現した 80 年の年に合わせて、運動の中心的役割を担った市川房枝の生涯、当時の社会状況の中で支えた家族や地域に焦点をあてたシンポジウムと特別展を開催します。（市の資料より）

市川房枝

市川房枝（1893.5.15~1981.2.11）

1893 年（明治 26 年）に中島郡明知村（現在の一宮市明知）に生まれ、87 歳で亡くなるまで、女性の地位向上とより良い政治のためにその一生をささげた、一宮市が誇る名誉市民。長い活動の結果、女性の選挙権を実現させた。（市の資料より）



▲市川房枝（出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」
<http://www.ndl.go.jp/portrait/>

★特別展

- ・日時 12 月 13 日（土）～2026 年 2 月 15 日（日）
- ・場所 尾西歴史民俗資料館 ☎ (62)9711
- ・入場無料

★展示説明会 尾西歴史民俗資料館

- ・日時 12 月 14 日（日）、2026 年 2 月 1 日（日）

★シンポジウム

- ・日時 2026 年 1 月 25 日（日） 午後 1 時 30 分～4 時
- ・場所 尾西市民会館大ホール
- ・定員 500 人（応募多数の場合抽選）
- ・申込 11 月 1 日（土）～12 月 21 日（日）午前 9 時～午後 5 時に電子申請
- ・入場無料

第 1 部 市川房枝の郷里と家族

映像と座談で、房枝の生涯や地域との関わりを紹介

第 2 部 特別対談 市川房枝と当時の社会

大正デモクラシーの時代から、戦時期、戦後昭和と激動の時代を生きた市川房枝。それぞれの時代で、彼女が目指したもの最新研究から迫ります。

（広報一宮 11 月号 10P に掲載されています。ID 1065718）

